

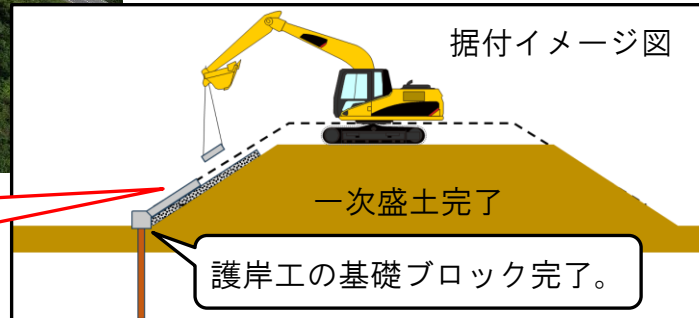
# 上今井遊水地圍繞堤工事 進捗状況

(株) 植木組

先月より進めていました護岸工の基礎ブロック据付が8月23日に完了しました。(右下据付状況写真参照)。  
引き続き、堤防法面の護岸ブロックの施工を行っていきます。  
安全第一で作業を進めていきますので、ご協力お願いいたします。



基礎ブロック据付状況



現在、堤防法面の護岸ブロックを  
施工中です。

# 回 覧

令和6年9月号 (No.25)  
国土交通省北陸地方整備局  
千曲川河川事務所



## 土地調書・物件調書確認会の開催報告

昨年度に測量を実施しました、県道三水中野線沿い及び栗林区堤防前面の地権者様を対象に、下記日程で土地調書・物件調書確認会を開催しました。今後は確認いただいた面積、数量をもとに補償金額の算定等を行い、説明の準備ができ次第ご案内させていただきます。ご出席いただいた皆様、誠にありがとうございました。



調書確認会の様子

【開催日時・出席者数】

令和6年8月1日 (木) 9:00~17:45 27名  
令和6年8月3日 (土) 9:00~12:45 7名  
※会場はともに栗林公会堂 合計34名

## お知らせ 上今井左岸側水路における環境調査の実施について

遊水地整備による環境への影響を把握するため、動植物の繁殖・生息状況について本年度も調査を実施しております。

今回、上今井左岸側の事業用地外において、水路内の生物生息調査を下記のとおり実施いたします。本調査は、事業区域内で確認された貴重種などを避難させる適地を調査するものです。

なお、水路への立入り調査につきましては、事前に水路管理者等へご相談させていただいた上で実施いたします。

受注者：いであ(株)  
調査期間：令和6年9月中旬～下旬頃  
調査範囲：右図ピンク色範囲内の主要水路



調査イメージ



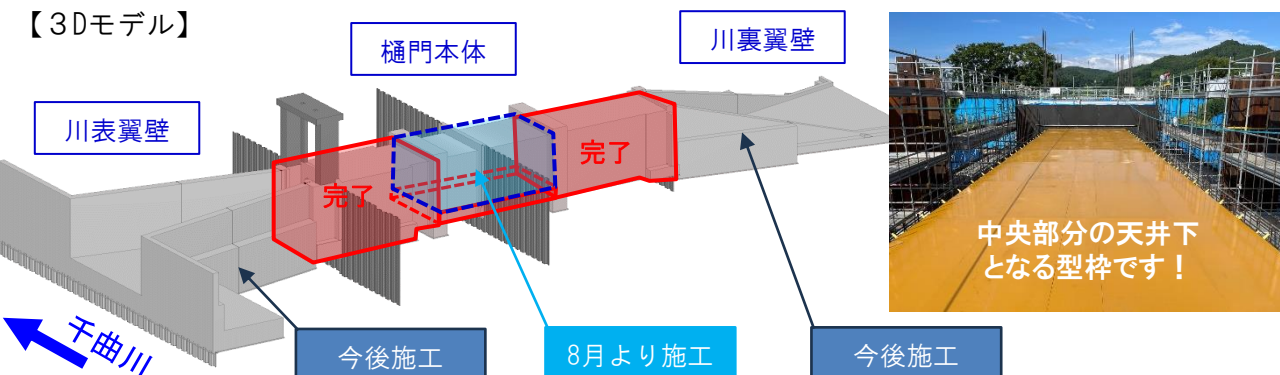
# 上今井遊水地排水樋門工事 進捗状況

北野建設(株)

堤防の下に埋まる樋門本体部分の構造物を、引き続き施工しています。3ブロックに分けて施工していますが、7月中にその内の2ブロックについて天井部分まで完了しました。

8月より中央部分の施工を行っています。引き続き、安全第一で工事を進めてまいりますので、ご協力をお願い致します。

右上写真：池側から見た樋門本体です。  
右下写真：中央部分の天井型枠です。  
下 図：今回施工の3Dモデルです。  
現在は青枠にて囲った部分を施工しています。



## お問合せ先

- 事業全般に関すること 千曲川緊急治水対策出張所 電話 0269-67-0450
- 用地補償に関すること 千曲川河川事務所 用地第一課 電話 026-227-7613
- 用地補償(上今井区前島・栗林区) 用地第三課 電話 026-227-0480
- 工事に関すること 中野出張所 建設監督官 電話 0269-22-2729

【『水神』のあらまし】

参考文献:『中野市千曲川水系治水史』、『上今井村ものがたり』  
写真提供:中野市広報…※1 中野市教育委員会…※2、※3

当地域は昔から度々千曲川の洪水による水害に悩まされ、地域の人々の生活は不安定なものでした。

長年のそういった状況から、人々は水害が起きないことを切に願い、また過去の水難者への供養の思いからも、当地域では『水神』にまつわる風習が古くからあり、集落ごとに「水神祭」や「水神さん」といった名称で行事が執り行われてきました。

【集落ごとの水神祭】



水神さん(上今井)



※1

全長5mほどの竜神が区内を回る(大俣)

水害の常襲地であった大俣区では、集落内に水神・水難供養塔があり、水神祭が古くから行われています。

寛保二年(1742年)・弘化四年(1847年)の水害はひどく、大俣にその爪痕を残し、水死者も流れ着いたといえます。元治二年(1865年)にも大洪水があって、大俣ではこの年に水難供養塔を建立し、それまでの水死者をまとめて供養しています。明治になっても洪水は度々襲い、村は氏神の境内に水神社を建立し、水害除去祈願をしていました。そしてこの頃から水神祭が行われるようになったといわれています。

この祭りの中心は竜神船(写真左)。荷車に木の枝で骨組みを作り、そこに束ねた藁を取り付け、目には丸ナスをはめて竜神を形作ります。囃子に合わせて竜神船を村中引き回し、最後に千曲川河岸で竜神船を燃やします。大俣の水神祭は中野市の無形民俗文化財にも指定されており、今年は神事のみとなりましたが、毎年恒例の8月16日に水害除去を祈願しました。



※2

燃え上がる竜神(大俣)

また水神にまつわる行事は上今井区や栗林区でも古くから執り行われており、上今井は毎年5月中旬の「水神さん」にて、神楽をひいて集落内を回り、水神さんの前で獅子舞の奉納を行います。栗林は春祭りに合わせて毎年5月1日に、集落内の堤防築堤記念碑前にて、神事の形で水神祭を執り行っています。



栗林で水神祭が行われる堤防築堤記念碑前



※3  
水難供養塔(大俣)

先人たちの水害除去への思いは、これら行事を通して現在も地域に受け継がれています。

引き続き左岸築堤の盛土工事を進めております。

先月号でお知らせした通り、7月29日より盛土工事に着手し土砂運搬が始まりました。3工区とも工事現場で活躍している重機類は、ICT技術(情報通信技術)を搭載した重機を活用し、生産性向上・作業員の負担低減・安全性の向上に努めております。翌月以降は、皆様にICT技術の紹介をしていきたいと思っております。



ICTマシンコントロールブルドーザー



ICTマシンコントロールブルドーザーのモニター画面

大型ダンプ約50台/日稼働のため、散水・道路清掃等による防塵対策を行っています。また、ダンプ運行に伴う公衆災害・交通事故防止のため、毎日の朝礼時に安全注意事項の周知を図り、安全運転の励行で築堤盛土工事に臨んでおります。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いします。



築堤盛土材の土取場状況



防塵対策: 散水状況